子供が歓びながら遊び学べる知育玩具の企画立案

春・秋連結学期 | 京田辺校地開講科目

1. 目的・概要

the purpose and an outline

本プロジェクトでは、学生が子どもの頃から慣れ親しんできた知育玩具を題材にして子どもが歓びながら遊び学べる知育玩具を企画することを目的としています。

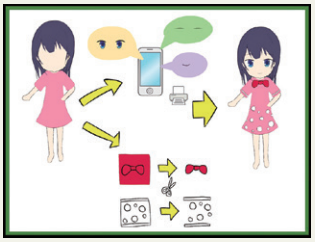
現代社会では玩具という消費財は子どもが生まれて初めて接する道具の一つであり、子どもの成長に大きく関与すると考えられます。しかし、今まで「子どもの成長に良い玩具」とは何であるかとはあまり論じられませんでした。玩具業界では知育玩具と言われる分野で色、数字、形、文字を覚えるなど一般的な題材が多少論じられてきました。本プロジェクトでは子どもが夢を描けたり、理科に興味を持ったり、クリエーターを目指すといった幅広い観点から議論を始めて、子どもの成長に良い玩具の企画を実践しました。

授業では、玩具、玩具産業を学ぶことから始まり、自ら考察、調査などを行います。このような活動を通し、企画力、プレゼンテーション能力、交渉力などを養うことができます。

doshisha
kyotanabe
imadegawa

annual schedule

2015年	4月 11日	開講
	4月 ～ 5月	玩具産業概要、マーケティング、玩具企画開発についての講義
	5月 2日	トミカ博 in OSAKA見学
	23日	トミカの企画会議（企画立案の練習）
	6月18～21日	東京おもちゃショー2015見学
	6月 ～ 7月	知育玩具の市場調査、企画立案のための情報収集
	10月 31日	クローバー祭にてアンケート調査、観察調査の実施
	11月	調査結果をもとに企画テーマの発見
		企画開始
2016年	1月 17日	成果報告会



2. 成果達成度

the achievement degree

1.調査・考察

春学期は主に企画立案に向けて、知育についての知識を身につけること、そしておもちゃ業界の市場について調査しました。おもちゃ業界については、おもちゃの製造から市場マーケティング、企画立案方法まで様々な観点から学びました。また実際に店頭調査をしに行く、知育関係の論文を調べるなど、実際の商品企画のための調査も行い知識を深めました。トミカ博や東京おもちゃショー、東京おもちゃ美術館に学外見学にも出向き、子どもに人気なおもちゃや最新おもちゃについて学び、企画立案にむけてよい刺激を得ることができました。

2.企画立案・企画提案

秋学期に取り組んだこととしては、まずクローバー祭に出店しました。ジャンルに分けたおもちゃの展示をし、子供が興味を持つおもちゃ、保護者目線でのおもちゃに対する意見などをアンケートや聞き取り、実際にこどもたちの様子を観察することにより調査しました。2日間を通して約300名を超える方が来てくださり、アンケートを取ることができました。そして、クローバー祭終了後より、本格的な企画段階へと移行していきました。春学期に学んだ知育やおもちゃに関する情報や、自分たちで実際に集めたクローバー祭でのデータを参考に、こどもが歓びながら遊び、学べる知育玩具の企画立案を目指しました。たくさんのアイディアが出ましたが、大きく4つのジャンルでの企画を用意しています。それぞれのチームに分かれ、知育玩具としての利点やコンセプトなどを議論しながら、各企画を進行させました。

3. プロジェクトを通じて

through a project

2015年4月からの約9カ月間、私達は、株式会社タカラトミーの渡辺公貴先生の指導の下、プロジェクトを進めてまいりました。玩具の定義に始まり、おもちゃ業界について、マーケティング、企画、SWOT分析など、今までに聞いたことがない分野や言葉を耳にし、春学期には、さまざまなことを学びました。その間、座学だけではなく、自分たちで実際に、トミカ博、東京おもちゃショーや東京おもちゃ美術館、チームラボなどに足を運び、見て、触れて、知見を深めました。また、同志社クローバー祭にて、おままごと、ブロック、英語教育のタイプ別のアナログとデジタルのおもちゃを展示し、実際に子どもたちに遊んでもらい、観察しました。最後に、お子様、保護者の方にアンケートを書いてもらい、アンケート調査も行いました。そのアンケート結果を分析し、秋学期からは、本格的に「企画」が始まりました。ブレインストーミングや、企画会議を通して、それぞれの案をブラッシュアップしました。「良い！」と思える企画を思いついても、知育要素と結びつけるのはなかなか難しく、悩むこともありましたが、メンバー全員で話し合って解決してきました。この授業を通して、普段の授業とは違ったことを学び、感じとったことを、今後の生活に活かしていきたいと考えています。

doshisha　kyotanabe　imadegawa

[編集後記]

プロジェクトの中でも人数が少なく、こぢんまりとしたクラスでした。渡辺先生の持って来てくださるおもちゃのサンプルもみんなの楽しみのひとつで、土曜日の授業に田辺坂を登ってくるのはなかなか大変でしたが、頑張ったかいもあって、ひとりひとりがそれなりの成果を得たと実感していると思います。これからも、この経験をバネに、常にアンテナを張りながら、いろいろなものを吸収していきたいと考えています。1年間プロジェクト活動を一緒にしてきてくれたみなさん、ご指導いただいた渡辺先生、田中先生、本当にありがとうございました。

[プロジェクトメンバー]

合原 美優（文4）　山口 修史（法4）　稲沖 麻子（文化情報3）　大石 真由（文化情報3）　梅﨑 直統（理工2）　阿曽沼 彩花（心理2）
山根 久美子（心理2）　千葉 龍一（TA）